



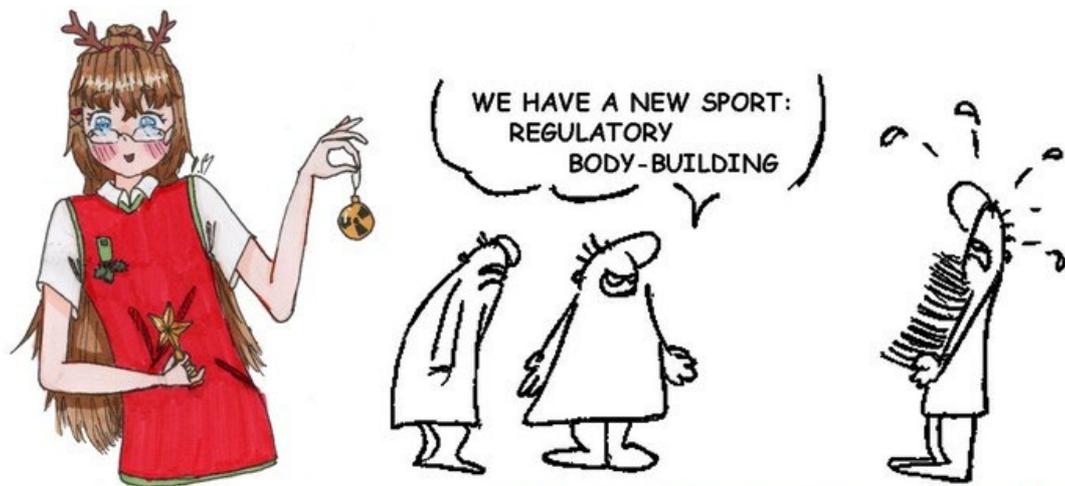
IRPA Bulletin

For RP professionals, by RP Professionals



2022年6月

ISSUE #34



欧州地域会議の会期中に展示されていた作品
(Blanka Petrányi, Claudia Olaru, Judit Zirczi, Zsolt Déri)

In this issue:

- 会長ブログ - 2
- 学会スポットライト - 第3回クロアチア放射線防護学会・若手部会 - 4
- 2024年シーベルト賞ノミネーション - 6
- 第6回欧州地域会議の概略 - 7
- ウェブサイト更新 - IRPA15 会議動画 & IRPAタスクグループ - 11
- ICRP2021+1 インタビュー - BRIAN AHIER - 12
- 今後のイベント - 15

翻訳: 石川 純也、西田 一隆、監修: 藤通 有希

この”IRPA会報”の日本語訳は、IRPAの公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPAはその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

Translated by Junya Ishikawa and Kazutaka Nishida, and reviewed by Yuki Fujimichi.

This Japanese translation of ”IRPA Bulletin” is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

会長ブログ

DR. BERNARD LE GUEN

科学は簡単な一部分に過ぎない

例えば、10 m離れたところにある50 TBqの⁶⁰Coの線量率を算出するのに、どのくらいの時間を要するでしょうか？手計算すると数分を要するかもしれませんが – もし⁶⁰Coのガンマ係数を覚えておらず調べる必要があるのなら – オンライン計算機に適切な数値を入力すれば数秒で算出できます。あ、もし興味がありましたら線量率は約180 mSv/hrです...私が使用した計算機が最新のガンマ係数に更新されていれば、の話ですが。



それが科学というものです。試験であるならば、その時点で完了かもしれませんが。放射線防護の専門家であるならば、仕事は始まったばかりです。考えてみてください...

- あなたが大学の放射線防護担当者ならば、このとても高い線量から人々を防護する必要があります。安全境界を設定し、どのようにして線源がその場所へやってきたのかを調べ、規制当局へ通知し、復旧計画を立てる必要があります、最終的にそれらの出来事を完了させるために数か月を要するかもしれません。
- あなたが放射線腫瘍医であるならば、患者のがんを合理的な時間で治療するためには、この線量率では極めて不十分であり、患者を線源へ近づける必要があることに（願わくば）気がつくはずでしょう（これは悪いアイデアではありません – 10 mは立ち位置として遠いです！）
- あなたが産業用放射線作業（撮影）者であるならば、単純に線源をコリメートし（絞り）、放射線安全境界を適切に設定し、次の“撮影”へ移れば良いでしょう。
- あなたが原子力発電所にてイオン交換樹脂、主冷媒フィルター、ベアリングやバルブシートの交換作業を監督するALARA技術者ならば、作業者を防護するための適切な遮蔽を決め、作業計画のためにALARA計画を策定し、過剰な被ばくが生じずにきちんと作業が完了するように、極めて公正でしっかりした放射線安全管理を制定する必要があります。また、あなたがその発電所の規制当局者であるならば、その作業計画と全ての計算に誤りがないのか、全体を通して調べたくなるでしょう。

会長ブログ

DR. BERNARD LE GUEN

まだまだ続けることはできますが、もうお分かりいただけたかと思います。とても頻繁であるものの“数値”を計算すること（その数値がどのようなものであれ）は、放射線防護における我々の職務のうちの簡単な一部であり、さらに科学者としての我々は、その数値が結局どうなるのかということに着目する傾向があります。しかし前述の通り、我々の専門には計算以上のものがあり、多くの場合には、計算そのものよりも、その結果を受けて何をするのかということの方が問題なのです。それでも、これはしばしば不快にさせる我々の職務のうち的一部分 – 主観的な部分 – であるのです。なぜなら、我々の回答を解釈し、我々の結果を発表し説明するために相手の知識や（時には）性格を考慮することに関連するからです。それでも、我々がそうできなければ – 我々が働きかける人々が、最終的に数字が意味するところを理解できなければ – 世界中で最もよくできた計算だとしても無駄になってしまうのかも知れません。

私が大学生だった頃、多くのクラスメートは哲学、心理学、社会学、その他の“ソフト・サイエンス”を勉強することをばかにしていました。そこには“ハード・サイエンス”だけが厳密で、再現性があり、客観的であると感じる傾向がありました。しかし、キャリアを積み重ねるにつれて、私は世のほとんどの人が主観的に考えて理由付けしてることに気がつきました。我々は、数十億の人々を定量的かつ客観的に考える人々へと魔法のように変化させることはできません – 我々が科学するのであれば、我々は科学者でない人々の感覚に沿って、説明ができるようにしなくてはなりません。

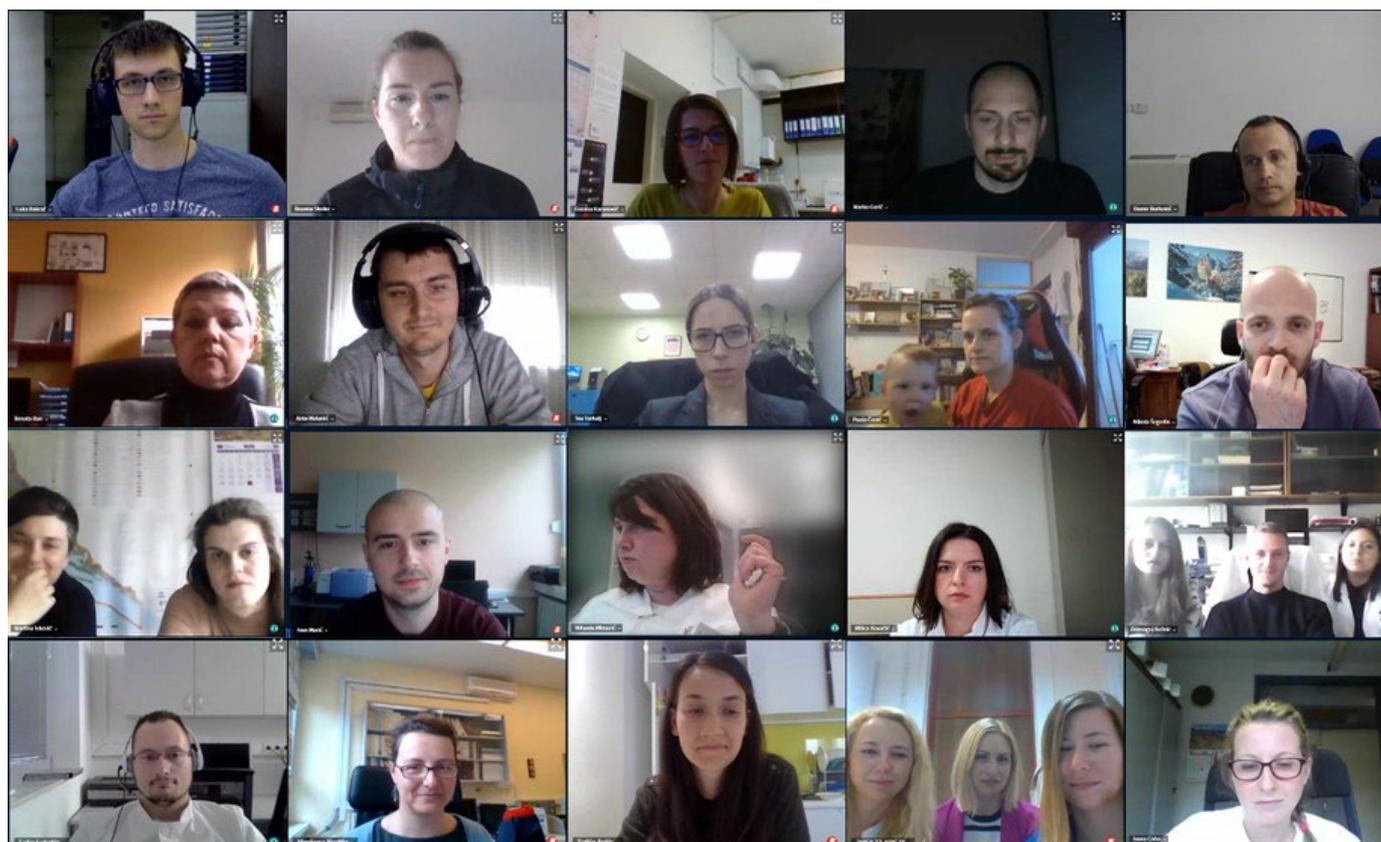
我々は科学者として可能な限りツールを活用し、科学の進歩を追い求め続け、その結果やそれに続く勧告や結論が科学にしっかりと根差すようにしていくことが不可欠です。しかし我々は、同様に我々の仕事の最も重要な部分はこれからやってくることを覚えていなければなりません – 我々はしばしば科学者でない人々へ我々の仕事の重要な部分を伝えたり、時には社会全体へ向けて結果を適用したりすることができなくてはなりません。我々の科学だけしかなければ、我々の仕事のごく一部しか達成することはできないのです。



ANTE MATANIĆ, MARINA POJE SOVILJ, MARIJANA NODILO AND IVANA COHA

2022年3月31日に、クロアチア放射線防護学会（Croatian Radiation Protection Association; CRPA）の第3回若手部会会議がオンラインで開催されました。本会議のメインゴールは、CRPAの若手会員が一堂に会し、科学的な協力を強化することです。

本会議には30名の若手専門家が参加し、うち15名が放射線防護分野に関連した機関や職業について12の発表がありました。会議はCRPA若手部会長であるAnte Matanićにより開会が宣言され、その後で会長であるIvana Cohaによって参加者が歓迎されました。IvanaはCRPAの歴史とともに、過去および現在の仕事について紹介し、1979年の発足以来、放射線防護分野におけるCRPA会員の寄与および仕事について強調しました。Marina Poje Soviljは前任の若手代表としての経験を発表し、さらに彼女が所属するUniversity Josip Juraj Strossmayer of Osijekの低レベル放射能研究室における研究プロジェクトについて説明しました。



クロアチア放射線防護学会・第3回若手部会会議の参加者たち



学会スポットライト： クロアチア放射線防護学会 若手部会

Ruđer Bošković研究所は、クロアチア最大の学際的な科学研究センターです。本会議では、放射線防護に関連した3つの研究室と1つの部門が発表しました。

- 放射化学・線量評価研究室の研究プロジェクトはMarijana NodiloとIvan Marićにより発表されました。
- Domagoj Bošnjirは、放射線生態学研究室における成果について話しました。
- Damir Borkovićは、低レベル放射能研究室における科学的な研究について述べました。
- Luka Bakračは、労働安全衛生・防火・放射線防護部門について紹介しました。

Božena Skokoは、医療研究・労働衛生研究所の放射線防護ユニットでの公衆衛生に関する科学のおよび研究的プロジェクトと専門的活動について述べました。EKOTEH Dosimetryは放射線防護を含む電離・非電離放射線に関する専門的なサービスを提供する企業です。この企業の代表はŽeljka Topolovacです。

保健医療における放射線防護に焦点をあてた発表が数多くありました。UHC Sestre Milosrdniceでは、医学物理士が放射線治療、核医学、放射線診断、放射線防護の各分野で働いています。Vera Vujasinovićは、治療計画、試験、校正、品質管理のようなそれぞれの責務について述べました。Iva IvanišićとAndrea Vukojaは、CHC Osijekでの放射線治療と核医学分野における医学物理士の活動概要を説明しました。CHC Osijekに所属する3名の医学物理士、Nevena Obajdin、Doris Šegota、Dea Dundara Debeljuhが、彼らの活動と共に、医学物理部門により行われた科学的・研究的プロジェクトについて述べました。Luka Luketinは、CHC Zagrebの出身で放射線治療および治療計画、核医学、放射線診断における画像診断、放射線防護、ガンマナイフによる定位放射線手術の分野において幾つかの場所で勤務する医学物理士について発表しました。最後に、Sofia Antićが、診断と腫瘍の治療に特化した市立病院であるRadiochirurgiaについて発表しました。発表の中で、彼女は自身の病院における医学物理士の責務について話しました。

会議の最後には、若手部会長とCRPA会長の両名が全参加者に感謝を述べ、将来の活動を手短かに議論して閉会しました。



2024年シーベルト賞ノミネーション

1973年以来、国際放射線防護学会（International Congress of the International Radiation Protection Association; IRPA）の国際会議のたびに、IRPAは放射線防護分野へ卓越した貢献をし、傑出した人物へシーベルト賞を授与しています。本賞は、放射線防護分野のパイオニアでありリーダーであったRolf M. Sievertを称えるものです。

次の授与は、2024年7月7日～12日にフロリダ州オーランドで開催されるIRPA 16（2024年IRPA国際会議）の会期中となる予定です。シーベルト賞授賞式は大会開会式にて実施され、それに引き続いて受賞者よりシーベルト記念講演がなされる予定です。

全てのIRPA加盟学会は、シーベルト賞候補者を募集しています。シーベルト賞選考委員会における候補者評価を進めるために、IRPA加盟学会は各候補者について少なくとも次の項目を提供しなければなりません：

- 候補者が放射線防護分野で特に貢献したことで、受賞者となることを正当化し推薦の根拠となるような250-wordの概略。
- 候補者がIRPA加盟学会の正式な候補者であることを示す保証書。
- サマリーを含む500 words程度で候補者の経歴を示す履歴書。
- 適切な補足資料。

ノミネートは2022年12月31日までにclement@irpa.netへ応募しなければなりません。必須ではありませんが、推薦状と前述の補足情報を1つのPDFファイルで送付してください。

シーベルト賞受賞者はIRPA 16にてシーベルト記念講演を行う立場にあることが条件となります。現在のIRPA理事会およびシーベルト賞選考委員会の役員は対象外です。

選考過程の詳細は[Annex D to the IRPA rules](#)に記載されています。



2021年シーベルト賞・受賞者:

PROF. ELISEO VAÑÓ, EMERITUS PROFESSOR OF
MEDICAL PHYSICS OF THE DEPARTMENT OF
RADIOLOGY OF THE COMPLUTENSE UNIVERSITY OF
MADRID

[CLICK HERE TO SEE THE 2021 SIEVERT MEMORIAL
LECTURE - WHY IS RADIOLOGICAL PROTECTION
DIFFERENT IN MEDICINE?](#)



IRPA欧州地域会議のハイライト

第6回欧州IRPA会議が2022年5月30日から6月3日にかけてハンガリーの美しい首都ブタペストで開催されました。“あらゆる人のための放射線防護（Radiation Protection for Everyone）”というテーマで異なる分野から参加し、放射線防護の重要性に関心を集めることを明確な目的と決めました。大会組織委員会、科学委員会、欧州放射線防護学会の支援により科学的および社会的に印象的なプログラムが実施されました。研究者および科学者の貢献により、5日間の会議は質の高い発表で埋め尽くされました。

開会に先立ち、次の方により挨拶がありました：

- Miroslav Pinak（国際原子力機関；IAEA、放射線安全・モニタリング部門長）
- Werner Rühm（国際放射線防護委員会；ICRP、委員長）
- Csilla Pesznyák（欧州核教育ネットワーク、会長）
- Paddy Gilligan（欧州医学物理学組織連盟；EFOMP、会長）
- Filip Vanhavere（欧州放射線ドジメトリグループ、委員長）
- Andrea Beatrix Kádár（ハンガリー原子力機関、理事長）

IRPA 2022の開会を祝して、月曜日の夕方にウェルカム・レセプションが開催され、軽食とスナックが振る舞われました。これらは会場を知り、スポンサーや出展者、さらに大会参加者と出会う絶好の機会となりました。ウェルカム・レセプションが開会する前に、ハンガリーのフォーク・ミュージックとダンス・パフォーマンスが観衆を魅了しました。



THE BARTOK FOLK ENSEMBLE GROUPによるミュージック & ダンス・パフォーマンス
(SOURCE: IRPA2022 – VÉGELDÁNIEL)

IRPA欧州地域会議のハイライト

新しい技術のおかげで、各国代表者は現地もしくはバーチャルのどちらか一方で会議に参加することができました。参加者は会議の直前まで、現地参加かバーチャル参加かを選択することができました。多くは現地参加であり、ブタペストの美しさ、興味深い技術現場見学、ドナウ川クルーズでのガーラ・ディナーなどはオンラインではアクセスできないため、それらの人々は幸運でした。バーチャルでの発表者は、発表を事前収録しておき、オンラインでのライブ質問に回答しました。

またテクノロジーにより、欧州IRPA 会議史上で初のデジタル・ポスター・セッションを開催することができました。その目的は、ポスター発表者と聴衆の両方にメリットがあるように、追加コストを参加者へ負担させることなく、最大限のスペースを活用した、柔軟でより円滑なポスター発表を実現することにあります。ポスターはデジタル・スクリーンに縦長で表示されました。発表者はシステム上にポスターをアップロードするだけです；

ポスターはProfessional Congress Organiser (PCO) によりスマート・テレビとバーチャル会議プラットフォームへ同期されます。複数のスクリーンを利用したことで、一度に14のポスターを展示できました。各ポスターには発表者が説明する場所と時間が与えられ、発表者はポスターの隣でそれらを紹介する15分間を与えられました。ハイライト・ポスターは口述発表プログラムへ組み込まれ、発表者は7分間（質疑応答を含む）でポスターを発表しました。また、議論の機会を増加させるため、会場のスクリーンは会期中、自由に閲覧できるようにしました。

数字でみる本会議

- 56の国から433名の参加者
- 14の異なる科学的なトピックス
- 8のリフレッシュ・コース
- 9の興味深い技術現場見学（101名の参加者）
- 5のワークショップ
- 147の口述および108のポスター発表



デジタルポスター・セッション (SOURCE: IRPA2022 – VÉGEL DÁNIEL)

IRPA欧州地域会議のハイライト

学生と若手専門家

この会議では、次世代の放射線防護専門家が活発に発表しており、その多くが若手研究者のために提供された参加費減額を通じた支援を受けていました。また、EURADOSとIAEAは若手研究者を財政的に支援し、15名の候補者が、それぞれの属するIRPA加盟学会から推薦され、支援を受けました。

IRPA2022大会、Somos財団、IRPA16大会の支援によりYoung Scientists and Professionals Competitionが開催され、13名の学生および若手研究者が、それぞれの研究成果を発表しました。候補者は大会前に要旨と論文を投稿し、その口頭発表は適切なトピックの科学プログラムに含まれました。国際的な審査員が、論文と口頭発表の基礎研究の成果の科学的な質と新規性、論文および口頭発表の注意深さについて評価しました。また、聴衆には会議アプリを介して良いと思った発表者に投票してもらいました。次の方が賞金を添えて賞を授与されました:

- 1st Place award: Dávid Hajdú (Reproduction of shielding concrete activation measurements by simulations)
- 2nd Place award: Davide Bozzato (Operational radiation protection challenges for the LHC experiments)
- 3rd place award: Victor Garcia Balcaza (PyMCGPU-IR Monte Carlo code for occupational dosimetry in interventional radiology)
- Audience award: Whitney N. Coulor (Developing a radiation safety program in countries without legislation in radiation safety – a report on Caribbean countries)

スタートアップ・コンペティション

IRPA会議における新規イベントとしてStartup Competitionが実施されました。これはサテライト・イベントとして、放射線防護のさまざまな分野における有望なソリューションやイノベーションを発掘することに特化して実施されました。候補者はコンセプトを発表し、選ばれた審査員により評価され、次の方が受賞しました:

- 1st Place: Szabolcs Osváth (Kinepic Ltd.) (Digital Variance Angiography) <https://kinepict.com/>
- 2nd Place: Gábor Gécsi (27g-technology Ltd.) (Integrated dosimeter circuit solution) <https://27g.space/>
- 3rd place: Kinga Henning (Radoncontrol) (radon measurements, mapping, remediation solutions, and additionally intelligent indoor air quality monitoring systems) <https://radoncontrol.ro/>

IRPA2022 Startup CompetitionはEB Hungary Invest & QTICS Groupにより支援されました。



IRPA欧州地域会議のハイライト

6月1日（水）夜、テクニカルサイト訪問の後、イベント船上でガーラ・ディナーが開催されました。ドナウ川にかかる壮大な橋の下、世界遺産に登録された歴史的建造物ブダ、国会議事堂、ペストの文化行政地区などを眺めながら、リラックスした音楽をバックに、バラエティ豊かな美味しいハンガリー料理と厳選されたハンガリーワインを堪能しました。



ガーラクルーズディナー（出典：IRPA2022 – VÉGEL DÁNIEL）

私たちの仕事はまだ終わっていません。投稿された論文を審査し、出版しなければならないからです。2023年3月末までに、選ばれた論文はRadiation Protection and Dosimetry誌に掲載され、残りの査読済み論文はIRPAのウェブサイト上の大会議事録に掲載される予定です。参加者からのフィードバックによると、第6回欧州IRPA大会は大成功を収めました。今回の会議で導入された革新的な技術は好評で、伝統となり、今後のIRPA会議のプログラムに組み込まれることが期待されます。

IRPAのウェブサイトの更新

IRPA 15 会議動画 & IRPAタスクグループ

IRPA第15回大会の様相を収録したビデオをはじめ、[IRPA](#)第15回大会のコンテンツを我々のウェブサイトに順次追加しています。現在、以下のセッションの録画映像へのリンクがあります。

- 会議開会式
- 会議閉会式
- 強化されたトピック セッション (ETS) :
 1. ヒューマンファントム技術の進化
 2. 単位と測定量。ICRPとICRUによる勧告の意味するところ
 3. 水晶体被ばく
 4. 施設と線源管理における安全／セキュリティのインターフェース問題
 5. 産業界におけるNORM
 6. 医療における倫理と文化
 7. リカバリーとレガシー管理
 8. 職業性被ばく

今後も大会の映像を追加していきますので、引き続き内容をチェックしていただくか、[IRPAのYoutubeチャンネル](#)に登録していただくと、直接更新されます。



また、[IRPAタスクグループ](#)のための新しいスペースも設けており、今後数ヶ月間にわたって拡張していく予定です。各グループの活動内容について、もっと知りたいですか？第1回IRPAインターナショナル・ウェビナーの録音をご覧ください。米国保健物理学会 (HPS) と連携して開催されたIRPAタスクグループに関するニュースです。

LINK: XX

ICRP 2020+1インタビュー。 BRIAN AHIER、カナダ保健省

第6回放射線防護システムに関する国際シンポジウム（通称ICRP 2021+1）が、2022年11月7日から10日にかけてカナダのバンクーバーで開催されます。このシンポジウムは、ICRP、カナダ放射線防護学会、カナダ原子力安全委員会、カナダ保健省が共同で主催しています。

カナダ保健省のBrian Ahier氏は、合同プログラム委員会のメンバーです。今回は、そのブライアンにインタビューを行い、参加者に用意されている魅力を探りました。以下はその内容です。



ICRP 2021+1の魅力は何でしょうか？

ICRP2021では、国際的な放射線防護コミュニティが一堂に会し、放射線防護システムの発展に関する議論を開始する予定です。カナダで開催されるため、若手専門家を含むカナダの放射線防護コミュニティにとって、この議論に十分に参加し、国際的な専門家や経験から学び、専門知識や見識を共有できるまたとない機会です。

プログラム委員会のメンバーとして、ICRP2021の参加者の楽しみは何だと思われますか？

プログラム委員会は、魅力的で刺激的なイベントとするために、基調講演からテクニカルセッション、革新的なポスター発表まで、テーマ、トピック、フォーマットの議論と設定など、積極的にシンポジウムを企画してきました。参加者は、興味を引く幅広いトピック、各分野の世界的な専門家による講演、そして刺激的なディスカッションを期待することができます。本シンポジウムの包括的なテーマである「放射線防護-次世代」は、参加者が示唆に富み、将来を見据えたイベントとなることを期待できると思います。



ICRP 2020+1インタビュー。 BRIAN AHIER、カナダ保健省

今回のイベントで一番楽しみにしていることは何ですか？

より広い放射線防護のコミュニティと関わる機会だけでなく、個人的に関心のあるトピック、例えば放射線防護の基礎の見直しと改良、最適化、若い専門家の参加などについて、国際的な専門家から話を聞くことができることを楽しみにしています。特に、これらのトピックが生み出す会話や思考を聞き、そこに参加しようと胸を膨らませています。

他の人と議論することを楽しみにしていることは何ですか？放射線防護のコミュニティや防護システムにとって、なぜそれが重要なのですか？

カナダ国民の健康維持・増進を支援する連邦政府機関であるカナダ保健省での私の仕事を考えると、防護の最適化の幅を広げる議論も楽しみなことの1つです。同省は、COVID-19パンデミックへの対応における役割は言うまでもなく、医薬品や健康食品、環境と職場の健康、食品と栄養、健康科学と研究など、健康に関連する幅広いテーマを扱っています。したがって、公衆衛生に関する広範な議論における放射線防護の位置付け、および放射線健康科学と広範な公衆衛生政策との交錯は、特に興味深く重要なものです。

どのようなトピックが最も議論を呼ぶと思いますか？

予測することは難しいが、放射線防護の基礎の見直しと改良、最適化、低線量科学とその意味合い、経験からの学習などの多くのトピックスのように、放射線防護の発展の道しるべとなるようなトピックのどれかが最も多くの議論を生むと思います。また、若い専門家を取り込んだ良い議論も期待します。

次世代が直面する放射線防護の最大の課題は何だと思いますか？

上述のように、放射線防護は公衆衛生に関するより広い議論の中の1つのトピックです。課題の一つは、公衆衛生における最適化に関するより広い議論の一部として、これをどのように適合させるかということです。また、国民や利害関係者への明確かつ一貫したコミュニケーションや誤った情報の管理という継続的な課題に今後も直面することになると思います。



ICRP 2020+1インタビュー。
BRIAN AHIER、カナダ保健省

次世代の放射線防護はどのようなもので、（10年後くらいには）どのような変化・イノベーションが起こると思いますか？

これも予測が難しいのですが、低線量科学とその意味合い、最適化の幅を広げる進行中の議論、経験から学ぶことへの理解が深まることにより、推進されるだろうと思います。

ICRP 2021+1への出席を奨励するために、何か具体的に言いたいことはありますか？

次世代の放射線防護に向けた対話に参加する機会を掴み取って下さい。



7-10 NOV 2022 🍁 VANCOUVER

6th International Symposium on the
System of Radiological Protection

[ICRP2021.COM](https://www.icrp2021.com)





visit
www.afrirpa06.org

AFRIRPA06

6th African Regional Congress on Radiation Protection

ACCRA - GHANA

10 - 13 October, 2022

Theme: Embracing Radiation Protection
Education and Safety Culture



Congress Highlights

- ✓ 4 days of scientific presentations
- ✓ Refresher Courses
- ✓ IRPA Associate Societies Forum
- ✓ Social Exhibition
- ✓ Young scientists and radiation protection professional awards

REFRESHER COURSES

- › Education and Training: Integration of Radiation Protection in Medical and Dental Curricula
- › Safety Culture
- › Measurements of Radiofrequency Fields
- › Radiation Protection Programme in Newer Digital Technologies and Interventional Radiology
- › NORM Characterization
- › Radioactivity in Food and Water



GARP
Ghana Association for
Radiation Protection



IAEA
International Atomic
Energy Agency



IRPA
International Radiation
Protection Association



WHO
World Health Organization



LA Palm Royal Beach Hotel
Labadi, Accra - Ghana



(233) 54 357 7726
(233) 24 497 2758
(233) 24 310 2487



info@afirpa06.org
www.afrirpa06.org





XII CONGRESO REGIONAL DE SEGURIDAD RADIOLÓGICA Y NUCLEAR

PROTECCIÓN RADIOLÓGICA: *ADAPTÁNDONOS A NUEVOS ESCENARIOS*
X CONGRESO REGIONAL IRPA

ENCUENTRO IBEROAMERICANO DE PROTECCIÓN RADIOLÓGICA

SANTIAGO DE CHILE 2022

Centro de Extensión de la Universidad Católica de Chile - Desde 23 al 27 de Octubre

ÁREAS TEMÁTICAS

PROTECCIÓN RADIOLÓGICA

INNOVACIÓN Y TECNOLOGÍA

CULTURA Y SEGURIDAD

REGULACIÓN Y RECOMENDACIONES

FECHAS IMPORTANTES

INSCRIPCIONES HASTA EL 23 DE OCTUBRE DE 2022

ENVÍO DE RESÚMENES HASTA EL 30 DE ABRIL 2022

INFÓRMATE EN WWW.SOCHIPRA.CL/CONGRESO-REGIONAL-SANTIAGO-DE-CHILE-2022



ニュースをお寄せください。

AOC RP6

6th ASIAN AND OCEANIC CONGRESS FOR RADIATION PROTECTION (AOC RP6)

About Conference

The 6th Asian and Oceanic Congress for Radiation Protection (AOC RP6) will be held at Mumbai, India during 07 - 11, February 2023. The Indian Association for Radiation Protection (IARP) has been serving the national and international scientific community for the past 55 years by organising international, national and regional conferences and workshops in the field of radiation protection and safety. IARP is proud to host AOC RP6 for the first time in India and feels happy to welcome all the participants from around the world. More than 500 delegates including eminent international and national radiation protection professionals are expected to participate in the congress.

**07-11
February
2023**

Nehru Centre, Mumbai, India

For more details and latest updates please visit

www.aocrp6.com

Congress Theme

Radiation safety is given highest priority at different stages of operation in nuclear, medical and industrial applications of radiation technology. In the past decade, variety of systems and methods have been developed in the field of radiation protection and surveillance including release of new ICRP publications. In view of these developments, AOC RP6 is devoted to the congress theme of "Radiation Protection and Surveillance in Nuclear, Medical, Industrial Facilities and the Environment". This congress is a forum for all the stakeholders including researchers and policy makers to discuss various safety issues related to the developments in radiological and environmental safety of nuclear and radiation facilities.

Call for Papers

Scientific Programme Committee of the 6th Asian and Oceanic Congress for Radiation Protection (AOC RP6), cordially invites you to submit abstract to AOC RP6 to be held on 07-11, February 2023, in Mumbai, India. All abstracts must be submitted electronically through the website only (<https://www.aocrp6.com/>). Abstracts submitted via e-mail, fax or regular mail will neither be accepted nor acknowledged. All submitted abstracts will be reviewed and assigned to appropriate session. Notification on acceptance will be sent to the submitter by email.

Important Dates

Abstract submission starts

10/05/2022

Last date for abstract submission

30/06/2022

Intimation of acceptance of abstract

15/09/2022

Registration begins

5/07/2022

Early bird Registration & accommodation request (up to)

15/10/2022

On the spot registration allowed (up to)

06/02/2023

Contacts

Dr. M. S. Kulkarni

Convenor, Congress Organizing Committee, AOC RP6
Head, Health Physics Division
Bhabha Atomic Research Centre
Mumbai, Maharashtra, India.

Email: aocrp6@gmail.com | Phone: +91 22 25595076
Fax: +91 22 25505313 | Mobile: +91 9969961663

Dr. S. Murali

Secretary, IARP
Radiation Safety System Division
Bhabha Atomic Research Centre
Mumbai, Maharashtra, India.

Email: mrliyengar@gmail.com | Phone: +91 22 25593774
Mobile: +91 90047 73341 (WhatsApp only)
Website: <https://www.iarp.org.in>

Outline Structure & Topic Areas

The scientific programme of the congress will include keynote addresses, Panel Discussions, Invited Talks, Proffered Papers, Posters and Technical Exhibition. The major scientific thematic areas to be covered at the congress are listed below:

1. Foundation Topics on Radiation Protection Philosophy and Risk Estimates
2. Radiation Safety and Protection in Nuclear Facilities
3. Radiation Safety and Protection in Medical & Industrial Sectors
4. Radiation Dosimetry (External, Internal and Biological)
5. Nuclear Instrumentation and System Development
6. Environmental Monitoring and Assessment
7. Existing Exposures
8. Emergency Preparedness and Response
9. Regulatory Framework: System of Protection, Standards and Regulation.

Guidelines for Abstract Preparation and Submission

Contributions should be brief with relevant scientific/technical details in the form of an extended abstract of one page, not exceeding 500 words. The template of the abstract can be downloaded from the AOC RP6 website. The contribution must be submitted ONLINE (electronically) through the abstract submission facility of AOC RP6 website (www.aocrp6.com) before the closing date. Abstract submitted for presentation in the congress will be reviewed independently by the members of the scientific programme committee and experts in the field. The intimation will be sent to the authors post the acceptance of abstracts. Last date for abstract is 30/06/2022. The acceptance of the abstracts will be intimated before 15/09/2022.

Registration Details

Registration is pre-requisite for attending the conference and presenting a paper. Request for registration will be taken through online form available on website from 15th July 2022 onwards. Registration fee payable is listed below:

Type of Registration	Amount payable (INR)	
	Early bird up to 15/10/2022	Late or on the spot 06/02/2023
IARP Member	10000	12000
Senior Citizen (IARP Member)	5000	5500
Non IARP member	15000	15500
Accompanying Person	8000	8500
Student delegate (Indian)*	5000	5500
Trade delegate (Indian)	20000	25000
Foreign delegate	600 \$	650 \$
Student delegate (Foreign)	200 \$	250 \$

* To encourage the participation of young students, financial assistance to the deserving under graduate / post graduate students of Universities will be provided subject to the availability of funds. Certificate from Head of the Institute/Department is mandatory.

Publications

Book of Abstracts will be published during AOC RP6 Congress. Manuscripts selected by our Scientific Programme Committee will be published in a peer reviewed journal.



ニュースをお寄せください。



共有すべきニュースをお持ちですか？cop@irpa.net までお送りいただければ、IRPA NewsとIRPA Bulletinでご紹介します。Bulletinの記事は通常、200～300 wordsと画像です。

学会スポットライトでは、関連学会からの最新情報を常時募集しています。あなたの学会の近況をお聞かせください。ミーティング、会議、一般的なイベント、または良いニュースはいつでも大歓迎です。

IRPA出版委員会：

IRPAコミュニケーション責任者：Dave Niven

会報編集者：Dave Niven

関連学会の連絡係：Adelene Gaw

ウェブ管理者：Dave Niven & Chris Malcolmson

ソーシャルメディア管理者：Sven Nagels & Chris Malcolmson;

メディア審査者：Sven Nagels、Young-Khi Lim、Hiroki Fujita

議事アドバイザー：Haruyuki Ogino

